



## 国際金融資本

令和6年8月5日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

資本と資本を生み経済を支配する。資本力の強大さは、経済を決定するのである。

これらは金融という大動脈が、資本力という背後の現実とともに経済を決定することを意味するものである。

資本主義という現実、経済の所有を与えるのである。

金融は資本における支配を有するのである。これらがグローバル経済の真実である。

これら強大な資本力に対して、自己経済の防衛という現実が存在するのである。独自資本における経済の育成という現実である。

これらは資本力が資本力から経済の守るものである。

経済のグローバル化とはこれら巨大な資本が支配する経済システムへの参加なのである。

これら経済のシステムは金融という標準化を経て、経済の統一性を形成するのである。

資本主義を支配するものはこれら強大な資本なのである。

これは資本における経済の安全保障という現実を求めるのである。独自資本という基盤は経済の健全性なのであり、それら資本における防御は経済の安全保障という現実なのである。

経済戦争は必ず真実である。為替操作などにおける資本の搾取や購買は、経済政策における正しい経済運営の必要性を与えるのである。

これらは性における優れた理解とコンセンサスの維持が組織の整備とともに、経済というライフラインの維持の必要性を政治において求めるのである。